

I-5. 子どもたちの文化活動への育成・支援

年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》					0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					広報活動の媒体					協働した団体		事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価	自己評価	新規	継続	
																創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報された・市HP	その他のHP・SNS	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)							
19	3	文化国際課	チャレンジ支援事業	I-5								小・中学校のクラブ活動団体が、コンクールに参加する場合、本番に近い環境を経験することで、日常の練習の成果が本番に活かされるようホールの使用を提供する。平成25年度より実施している。コロナ過で変更や中止になるコンクールが多かったため令和3年度利用団体数は2、利用件数は3。	事業の対象がはっきりしているため、通知文を送付し、周知に努めているが、各校の関係者ほどの程度周知されているか不明。	コンクールに挑戦する団体が、この事業を活用し、本番で日頃の成果を発揮されたい。															0		本番に近い環境を整え、提供できた。来年度は周知方法を追加・工夫し利用団体参加をより促していきたい。	A		○
20	3	文化国際課	育成団体支援	I-5	IV-1							3つの育成団体(合唱・吹奏楽・演劇)の活動を支援し、団体の質の維持及び向上を図るため、指導者への謝礼を支払う。また、定期発表の場を設け、日常の成果を市民に還元するための公演を実施している。	団体が安定的に活動をしていくためには、一定数の団員数が必要。	各団体の活動が、当課の活動をこえて、市内の各所で展開できるように、団体の存在や活動を広く知ってもらおう。	○	○	○											1,440		コロナ過が続く中ではあったが、少しずつ通常の活動に戻ってきた。団体のレベルを維持していくため、今後も連携を密にしていきたい、支援を続けていきたい。	A		○	
21	3	文化国際課	中学校合唱部支援事業	I-5	II-1							2年連続でマドカ合唱祭が中止となったため、岸和田市内中学校の合唱部が在学中に舞台に立つ経験ができるよう、8/10に中学校合唱部支援事業を実施し、無観客ではあるが、舞台上で発表する機会を設けた。(参加 5校 59名)	部員数の少ない学校は、コンクールに参加するなど舞台上で発表する機会がない。またコロナで、マドカ合唱祭が中止になり、他の合唱部の発表を聞く機会もない。	日頃の練習の成果を、舞台上で発表できる機会を設けるためにも、マドカ合唱祭の開催が望ましい。													40		マドカ合唱祭が2年連続中止となったための急な企画ではあったが、参加校も集まり、参加された方からも好評であった。	S	○			

I-6. 国際交流の推進

年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》					0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					広報活動の媒体					協働した団体		事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価	自己評価	新規	継続		
																創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報された・市HP	その他のHP・SNS	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)								
22	3	文化国際課	青少年海外派遣事業	I-6								令和3年度は、姉妹都市である米国サウスサンフランシスコ市(SSF)へ青少年を派遣する年であったが、コロナ感染拡大に伴い、中止を決定。	両市含め青少年が本市の魅力をいかに伝えるかをテーマに、事業を企画する際の仕組みづくり。	この事業を通じて、青少年が国際交流に積極的に参画するとともに、岸和田市の文化等の魅力を再発見できる事業としたい。															4,936		令和2年度から続いて、コロナ感染拡大に伴い事業はやむなく中止となりました。今後の市の発展にはこの青少年プログラムの成長が欠かせない為、次年度に期待する。	C		○	
23	3	産業高校学務課	高等学校教育振興事業	I-6								コロナ感染症終結のめども立たないため、姉妹校交流を中止。 8月本校デザインシステム科から草木染Tシャツ、及び日本の四季や岸和田だんじり祭りを紹介した巻物を作成して、漢江メディア高校へ郵送。 12月漢江メディア高校より姉妹交流10周年記念のクリアファイル及び応援映像のDVDが届く。	コロナの影響で3年間中止になったため、希望していた生徒が交流できず卒業になった。	事業の内容を工夫し充実させて継続																1,188		コロナ感染防止のため訪問が中止となっているが、交流が途絶えないためにも今後の活動方法を検討中。	B		○

基本目標Ⅱ 輪を広げる

Ⅱ-1. 発表・鑑賞機会の充実

年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》				0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					広報活動の媒体				協働した団体		事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価	自己評価	新規	継続					
															創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報された市HP	その他のHP・SNS	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)							他団体(団体名等)				
24	3	市民病院(経営管理課)	ギャラリーでの作品展示	II-1							市民病院の廊下にあるギャラリースペースに就学前児童が作った美術作品を展示。就学前児童の発表の機会であるとともに、来院される方々には子どもの感性が活かされる作品を鑑賞する機会となった。	展示作品入替え時のスケジュール調整	今後も引き続き展示を続けていく															0	0	来院された方で、立ち止まって眺めている姿をよくみる。子どもの季節に応じたかわいらしい作品に多くの方が癒されているのではと考えられる。	A		○			
25	3	自治振興課	平和推進事業 子ども平和映画会	II-1							新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、6月実施予定を11月に延期し実施した。11月13日に「あした天気になれ!～半分のさつまいも～」を上映した。参加人数は143人。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため収容人数を半分の250人にし、午後1回上映とした。	少子化の影響もあつてか、近年入場者数の減少がみられる。	今後も映画を通じて、児童や保護者に平和の尊さを再認識していただく事業の一つとして継続し、平和推進を図っていく。																250		参加者数が今後も少子化の影響で減少すると思われる。これからは若い世代に平和推進をしていく必要がある。令和3年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため縮小して開催。	A		○		
26	3	自治振興課	巡回平和パネル展	II-1							市民センター5カ所と市役所新玄閣の計6カ所で、「沖繩戦とひめゆり学徒」に関するテーマとしたパネル展を巡回した。	市民センターのロビー等に展示しているため、実際の来場者数を把握することが難しい。	市民にとって、より身近な施設で開催することで、多くの市民に鑑賞いただくとともに、非核平和への意識が高揚していく機会としていく。															0	0	アフガニスタン政権交代に伴う難民増加や、ウクライナ情勢等もあり、難民を取り上げたことは非常に有意義である。	A		○			
27	3	自治振興課	平和推進事業 非核平和資料展	II-1							アフガニスタンやパキスタンで支援活動を行っていた故・中村哲医師の現地活動に関する写真パネル(立命館大学平和ミュージアム、ベシャワール会から借用)、平和バスの事業報告、現物資料、戦時中の岸和田に関するパネル、小・中学生が書いた平和に関する作品等の展示を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	非核平和資料展のテーマに苦慮している。	市民が「戦争の悲惨さ」や「核兵器の恐ろしさ」を知り、平和の尊さを認識してもらおう。																0	1,739(総額)	最近まで活躍されていた中村哲医師を取り上げ注目度は上がっていたように思われる。来年度以降もこれからの担う世代に対して、平和の大切さを発信していきたいと考える。			○		
28	3	市民病院 医療マネジメント課	ロビーコンサートの実施	II-1							新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、年2回開催のロビーコンサートは中止となる。	入院されている患者様が癒される催しをコロナ禍でもできるように検討中。	社会的には、ウィズコロナにおけるイベントの再開が進んでいるが、感染リスクの高い患者さんが集うイベントの実施は困難な状況が続いている。感染対策を講じた上で、実施可能な方法も含め検討する。															0	20			○				
29	3	人権・男女共同参画課	人権を守る作品展 開催事業	II-1							12月の人権週間に向けて、「人権尊重」をテーマにした作品(ポスター、標語)を募集して、入選作品を12月に「人権を守る作品展(会場:マドカホール)」で展示するほか、1月、2月に「人権を守る作品展巡回展示(各市民センター)」で展示。マドカホールでの来場者は令和3年度は1,158名。	子どもは学校を通じて多数出品されるが、市民の作品応募が少くない。	引き続き作品展を開催することにより、人権啓発が図られる。作品応募について、市民協議会人権部会への案内を実施する。																	128		作品の制作に取組んでいただき、またその作品を展示した市民の方々に「人権」に触れ、大切なことに気づききっかけづくりとなっている。	A		○	
30	3	人権・男女共同参画課	男女共同参画センター・大宮地区公民館合同まつり事業	II-1	II-5	II-6					新型コロナ感染防止対策のため、開催なし		事業の内容を工夫し、より多くの参加者を呼び込めるようPR方法を工夫し、地域を含めた館の活性化を図る。															0	33			○				
31	3	生涯学習課	公民館まつり事業	II-1	I-2						令和3年度対象事業実施なし。(ミニ発表会を実施)	公民館利用者の高齢化等の理由から、役員の担い手や登録団体の減少が課題である。	実行委員会形式で当該が事務局となり協働して開催していく。																31	コロナ禍において、集客が難しくかったが、ミニ発表会を実施。公民館活動団体の発表の機会となった。	B		○			
32	3	生涯学習課	フレンドシップコンサート事業	II-1	I-5						青少年音楽団体の研鑽と交流を図り、地域の音楽活動を推進するとともに、青少年文化の向上を図ることを目的とし、6月に浪切ホールにて開催している。参加団体(市内の学校や青少年による吹奏楽・合唱グループ等)で構成する実行委員会が企画・運営を行っている。参加団体を募集したが、最終的に新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け中止。	実行委員会による自主的、主体的な企画・運営を目指しているが、団体の役割分担の調整が必要。	より一層、参加団体が主体となり、企画・運営ができるようにしていく。																		580	実行委員会形式で運営することにより、青少年と成人それぞれの活動団体の交流となり、青少年にとっては、未来の活動の支えとなっている。	C		○	
33	3	文化国際課	文化の日祝典記念絵画展「未来へつなぐ贈り物」	II-1							『文化の日祝典記念絵画展「未来へつなぐ贈り物」』と題して過去に寄贈された絵画37点を展示。234名が来場。	寄贈された美術品の維持管理と活用	寄贈いただいた絵画等を公開する機会を増やしたい。																162		「未来へつなぐ贈り物」展を開催し、寄贈いただいた貴重な作品を公開することができたのは良かった。	A		○		
34	3	文化国際課	マドカ合唱祭	II-1	II-5						市内各所で活動している合唱の団体に、発表の場を提供するとともに他団体との交流を促進し、合唱活動を盛んにする。また、オープニングには一般の個人が参加できる機会を設けている。令和3年度は、第1回実行委員会を実施したが、参加団体を募集する前に、緊急事態宣言発令により、中止を決定。	事業のPR、観客マナーの向上、出演者の高齢化への対応。7月下旬開催のため、暑さ対策が課題。台風など自然災害時のシミュレーションが必要。	事業の内容を工夫、充実していき、合唱祭の活性化を図る。																		121	事業の運営に関しては、実行委員会形式をとり、協議しながら内容を決めていく。委員、また参加団体の意欲を高めていくため、仕組みづくりの強化が必要。コロナ感染の対策をとりながら実施できる方法を模索中。	B		○	
35	3	文化国際課	岸和田市市展	II-1							美術に関する分野(洋画・染織・陶芸・書・日本画・写真・俳画)の公募展を行い、その審査結果を踏まえて、毎年11月に受賞作品のみを集めた展示会を行っている。令和3年度は、開催直前に緊急事態宣言が発令され臨時休館となったため中止を決定した。委員会を12月に行い、作品解説の中止と搬出時間を指定するなどの感染対策を講じた令和4年度の市展の開催を決定。	高齢化に伴う作品と来館者の減少。若い世代の出品数が少ない。将来的に部門を増やすこと、開催の組み合わせを考えなければならない。	若い世代への出品をひろげるべく、作品規格の見直しや募集要領の配布先、他の部門の創設を考えていく。																		326	1,619	感染症拡大防止の為に市展は中止になったが、次年度に向けて取り組む。	B		○

II-6. 文化交流の促進

年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					広報活動の媒体			協働した団体		事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価	自己評価	新規	継続
														創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報しわだ・市HP	その他のHP・SNS	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他						
43	3 図書館	ブックフェスタ事業	II-6	III-5		○	○	○	○	まちライブラリー、公共図書館、書店など「本がある場所(ブックスポット)が協力し、それぞれの場所で本にまつわるイベントを開催する。 岸和田ブックフェスタ 8企画 58名参加	特になし	図書館に限らず、今後も他の施設や地域でも開催し、相互にゆるやかな交流を深められるような展開を目指す。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市(担当課以外の課名)	ブックフェスタ実行委員会			企画ごとの参加は少ないが、その分、関心のあるテーマを深く掘り下げることができるので、参加者全員が楽しめる場となっている。企画やチラシ等の準備なども少ないため、事務局としての負担なく継続できる。	A		○

II-7. 生涯学習の推進と地域コミュニティの活性化

年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					広報活動の媒体			協働した団体		事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価	自己評価	新規	継続
														創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報しわだ・市HP	その他のHP・SNS	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他						
44	3 八木市民センター	学級講座等運営事業	II-7	I-2	II-1	○	○	○	○	定期(5講座)、短期(10講座)および女性学級を開設・運営した。昨年に続き、新型コロナウイルスの影響で公民館まつりが中止となる中、館独自で発表の場を設けるなど、登録団体等と協働できる限り催事の実行に努めた。	短期講座については、募集方法を電話や直接来館のうえ先着順としたが、複数同時に受付し、窓口が混乱した。	メールなどを利用した応募方法も検討する。	○	○	○	○	○	○	○	○	生涯学習課	登録団体	857	576	コロナ禍で行動が制限される中、ストリートアートやストリートピアノなど、通りすがりに気軽に楽しめる催しが好評であった。	B		○	
45	3 山直市民センター	学級講座等運営事業	II-7	II-1	I-2	○	○	○	○	公民館の主催講座においては、受講者アンケート等を実施し、生涯学習課と調整を図り、市民のニーズに合う講座や時代の変化に対応する講座、学級を開設した。	魅力ある講座開催に努めるも、コロナ禍では内容に制限があった。	講座受講後に自主的な学習活動が継続できるような事業運営。	○	○	○	○	○	○	○	地元町会 自治会回覧	生涯学習課	公民館登録クラブ等	600	610	主催事業である定期講座の見直しを図り、新しい利用者拡大に繋げた。	A		○	
46	3 図書館	図書館まつり開催事業	II-7			○	○	○	○	令和3年度の図書館まつりは、11月21日(日)に開催した。今回は新型コロナウイルス感染対策を考慮しつつ、本のリサイクル市をはじめ、川柳展、上映会などを行った。参加者は550名であった。	メンバーの高齢化による体力的問題とスタッフ募集の拡充。	図書館内だけの事業だけでなく、市全体にむけたイベントの参加やPRの拡充。スタッフそれぞれが自主的に活動できるしくみづくりが今後の目標である。	○	○	○	○	○	○	○	なし	岸和田市図書館友の会、岸和田みんなの図書館を考える会、若葉読書会等			図書館まつりの新たなボランティアスタッフの参加で、今後のビジョンに沿った活動が期待できる。メンバーの絆も深まり自主的な活動が生まれ、これからの図書館運営に連携した取組ができることが目標である。	A		○		
47	3 図書館	友の会支援事業	II-7						○	運営委員会(毎月1回)各教室、(文章、詩、短歌、俳句、岸和田再発見(毎月1回)総会の開催、図書館まつり(本のリサイクル)、文学歴史散歩、公開講演会の開催3回、友の会ニュース(年2回)の発行、「図書館から岸和田ルネッサンス11号」発行	会員の固定化・高齢化	広く市民が参加できる活動	○	○	○	○	○	○	○	○			68		後方支援に努め、自主性を重んじた。	A		○	
48	3 図書館	読書会支援事業	II-7						○	読書会への本の提供	読書会の減少とメンバーの高齢化	若葉読書会の図書館友の会への統合	○	○	○	○	○	○	○		若葉読書会 星和台読書会			予算執行の上で人数分の冊数の複本の用意が難しい。	B		○		
49	3 東岸和田市民センター	学級講座等運営事業	II-7	II-1	I-2	○	○	○	○	市主催の定期講座は成人対象の「ワンストロークベインティング」を開催し年間122名の参加。小学生対象の「キッズフラワー」は年間74名の参加。短期講座として「たのしい紙粘土」を5回開催し延べ40名の参加があった。今年度も緊急事態宣言発令による臨時休館や主催事業の中止を受け、ミニ発表会(展示・発表)は実施できなかった。	限られた予算の範囲で、コロナ禍でも実施できる講座や事業などを検討する。	事業内容を見直し、自主的な学習活動への支援を継続する。活動団体と連携を図りながら事業運営を行っている。	○	○	○	○	○	○	○	○	生涯学習課	公民館活動登録団体	486	685	昨年度に引き続き、コロナ感染対策を取りながら、利用者のニーズに応じた事業運営について検討する。	B		○	
50	3 生涯学習課	学び舎プログラム 学び舎ネットワーク(市立)	II-7						○	市内5か所の市民センターと市立公民館を拠点とし、全世代を対象とした講座及び地域の人材育成に関する講座・イベントを実施する。市立公民館では「チャンネル登録者数10万人越えあの人気YouTuberがやってくる!『YouTuber虎の巻』」を行った。職業YouTuberから華やかな面ばかりでなく、楽観的な考えでは成功することは難しくYouTuberの仕事としての苦悩について解説してもらった。(大人10人、子ども19人参加)	公民館事業を知ってもらうために集客を見込める事業を行う必要があるが、事業費が低額のため有名な講師になかなかお願いできない。	全世代を対象とした、公民館を広く知ってもらえる活動を行っていく。	○	○	○	○	○	○	○			110		YouTuberという1つの職業を題材に将来の自分の職業選択の幅を広げるためにも、学校学習の大切さに気づいてもらおうきっかけの場となった。	S		○		
51	3 生涯学習課	学び舎プログラム 学び舎ネットワーク(分館)	II-7						○	市内5か所の市民センターと市立公民館を拠点とし、全世代を対象とした講座及び地域の人材育成に関する講座・イベントを実施する。市立公民館分館では「みんなでタイムスリップ『日本唯一の曲独奏&獅子舞』」を行った。「和洋折衷、こまパフォーマンス」という日本唯一の曲芸家と獅子舞 & 和もの曲芸師の大道芸を楽しみながら、世代間、地域間の交流をおこなった。(大人37人参加)	公民館事業を知ってもらうために集客を見込める事業を行う必要があるが、事業費が低額のため有名な講師になかなかお願いできない。	全世代を対象とした、公民館を広く知ってもらえる活動を行っていく。	○	○	○	○	○	○			100		「和洋折衷、こまパフォーマンス」という日本唯一の曲芸家と獅子舞 & 和もの曲芸師を楽しみながら、世代間、地域間の交流をはかった。	S		○			
52	3 生涯学習課	学び舎プログラム まちづくり実践プロジェクト	II-7						○	令和3年度対象事業実施なし。岸和田市が抱える地域課題等を解決するための事業の実施について委託業務を行う。	プレゼンテーションに参加する団体の減少	事業の見直しを行い、市民が参加しやすい内容に工夫する。	○	○	○	○	○	○			500		コロナのため、プレゼン実施できず			○			

基本目標Ⅲ まちの魅力を高める

Ⅲ-1. 歴史や文化財等への理解の促進と活用

年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》				0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					広報活動の媒体				協働した団体		事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価	自己評価	新規	継続	
															創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報しわだ・市HP	その他のHP・SNS	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)							他団体(団体名等)
53	3	丘陵地区整備課 お茶畑再生プロジェクト事業	III-1	I-3			○				内畑町にてかつて栽培されていたお茶畑を地元の小学生(山滝小学校)とよみがえらせるプロジェクト。榊伊藤園を講師に迎え、1年生はお茶についての講義を受けチャノキを鉢に植える。2年生は鉢植えからお茶畑へ移植する。6年生は茶葉の加工を体験する。	お茶畑の管理及び拡充。	本プロジェクトを引き続き行いながら、関係団体と協議し、内容について工夫していく。														360	0	コロナ感染対策を行い、事業を完了した。かつて地元で行われていたお茶の文化に触れる機会として貢献した。	A		○
54	3	観光課 岸和田城管理事業	III-1	III-4						○	指定管理者の自主事業で風鈴祭りや犬走公開イベントを実施し、魅力を向上させることに取り組んだ。また、天守閣望楼においては、岸和田城ウエディングを本年実施している。	利用者が伸び悩んでいる。施設設備の老朽化が顕著である。	天守閣の耐震及び活用について、昨年度設置した委員会で、今後の計画を策定する。										水とみどり課・郷土文化課	岸和田市観光振興協会		32,306		岸和田城は、本市のシンボルであり歴史・文化・観光の拠点として位置づけられており、関係機関とも連携し、岸和田城の付加価値を高める取り組みを行っていく必要がある。	B		○	
55	3	観光課 城周辺整備計画推進事業	III-1							○	石畳と淡い街灯まちづくり支援事業により整備された岸和田城周辺地区において、お城まつりなどのソフト事業を実施することで、交流人口の増加による賑わいの創出に取り組んだ。	次期岸和田城周辺整備計画の策定	ソフト事業を継続実施するとともに、次期計画の策定については、市庁舎建替えの方向性がある程度見極められた段階で検討していく。										水とみどり課、郷土文化課	岸和田市観光振興協会		289	市庁舎建替えの方向性が示されたことにより、休止していた本計画も再開していく。	B		○		
56	3	郷土文化課 郷土資料等展示事業	III-1	III-2						○	岸和田城展示室において、郷土の歴史・文化を主テーマとした展示を実施。常設展に加えて、年3回の企画展を開催。	展示内容の充実化	来場者に対して本市の歴史・文化を紹介することで、文化財を通じて本市の魅力を周知し、郷土愛を育む活動を行う。												7,399		来場者の増加のために、理解しやすい説明キャプションを作成する等、工夫を行った。また、事業の充実を図るため、より一層の周知をしていく必要がある。	A		○		
57	3	郷土文化課 郷土文化普及事業	III-1	III-2						○	市指定天然記念物夜疑神社社叢に説明板を設置。市民センターで地元で特化したパネル展の開催や出前講座を実施。当課所管資料のデータ化等。	設置した説明板の周知。身近な地域での講座等の拡大・充実。データ化の拡充。	身近な地域での講座開催や説明板を設置することにより、歴史文化財を周知し郷土愛を育む。資料の安定的な維持管理、活用の効率化を図る。													3,887		市民センターで当地域の文化財発掘に関するパネル展や歴史に関する出前講座を開催できたこと、また説明板を設置できたことは地域住民へ広く文化財を周知できた。データ化を実施し資料活用の効率化を図れた。	A		○	
58	2	郷土文化課 岸和田市地域文化財総合活用推進事業	III-1	III-2			○			○	令和3年度は、文化庁の地域文化財総合活用推進事業補助金の交付を受けて、春木地区松風町、八木地区池尻町のだんじり用具の修理を行った。あわせて後継者育成事業も実施する予定であったが、感染症拡大のため後継者育成事業に関してはほとんど実施できず。	補助金の交付額が、補助額ベースで一行政団体が1000万円の上限がある	事業団体から要望があれば今後も支援していく											町会周知	なし	春木地区松風町 八木地区池尻町			感染症拡大のため事業縮小となったものもあったが、今後も継続していきたい。	B		○
59	3	郷土文化課 文化財保存支援事業	III-1	III-2			○			○	主に、民俗文化財の継承、保存のための補助金の交付。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業が2件中止となる。	後継者の育成	指定文化財が後世へより良い形で継承、保存していけるように、保存会並びに所有者への支援を継続していく。												158		今後も保存会、所有者との連携の強化、保護に努めたい。	B		○		
60	3	郷土文化課 濱田青陵賞事業	III-1	III-2						○	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、無観客での授賞式・記念シンポジウムを行った。並行して、Youtubeでの動画配信を行い、自宅にて観覧を可能とした。動画再生回数は600回を超えるため、通常の有観客開催より多くの方に知らいただくことができた。	事業の周知方法。	考古学の学術文化賞では最高位の賞であり「考古学の芥川賞」と呼ばれる賞として認知度、ネームバリューを活かした観客のさらなる裾野の拡大を目指す。											朝日新聞の紙面			2,348		あたらしい開催形態を模索しており、濱田青陵賞運営協議会でYoutubeチャンネルを開設し運営するなど、新しい開催形態を提示、運用できた。	A		○

Ⅲ-2. 伝統行事の保存・継承

年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》				0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					広報活動の媒体				協働した団体		事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価	自己評価	新規	継続	
															創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報しわだ・市HP	その他のHP・SNS	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)							他団体(団体名等)
61	3	観光課 だんじり会館指定管理事業	III-2				○				提灯の絵付け体験やミニだんじり工作、彫り師による実演(入館者332人)などだんじり文化をPRするイベントを実施。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で数が少なくなったが、だんじり祭に関わる文化の発信に努めた。	入館者数の停滞 施設設備の老朽化	指定管理者と連携し、全国的に知名度のある「だんじり」という他にない資源を最大限に魅力発信し、年中通じて活用できるブランド化に取り組む。R5年の開業30周年に向けてリニューアルを検討する。														63,717		新型コロナウイルス感染症の影響により、例年行っているだんじり文化に関するワークショップや展示の開催数が減少したが、引き続き取り組んでいく。	B		○
62	3	観光課 だんじり祭支援事業	III-2							○	令和3年度だんじり祭は誘客をせず規模が縮小されたため、観覧を防止するフェンスの設置などを行った。また、だんじり保存会への補助金を支出した。	観光客の一極集中化 ゴミ・トイレ・駐車場などの受け入れ環境の整備	観光客の受け入れ体制を整えるとともに、だんじり祭を側面・後方から支援することによって、明るく楽しい市民の祭りにしていく。														33,665	6,775	伝統的地域文化の継承を図るとともに、市民はもとより観光客に気持ち良く楽しい祭と感ぜてもらえるよう、関係団体とも連携し、祭の一層のブランド力の向上を目指す必要がある。	B		○

III-3. 自然環境や景観との調和

年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					広報活動の媒体					協働した団体		事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価	自己評価	新規	継続
														創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きしわだ・市HP	その他のHP・SNS	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)						
63	3	丘陵地区整備課 岸和田グリーンビレッジ構想推進事業	III-3							本事業では都市・農・自然が融合したまちづくりを推進しており、事業の一環として丘陵地区に生息するフクロウをシンボルとして里山環境の再生保全を目的としてフクロウの森再生プロジェクトを実施している。自然エリアでは良好な里山環境の保全と創出を目指している。	広報活動の強化	継続してイベントを実施することにより、市民の自然への関心を高める。														492		イベントを通じて、取組みの趣旨を伝えることには一定の効果があった。今後は市主導の運営体制から協議会主体で取組みを進めてもらえるような組織体制の構築が必要。	A		○
64	3	廃棄物対策課 まちを美しくする市民運動推進事業	III-3	II-1	I-5		○			まちの美化、青少年の健全育成、緑の保全及び推進について標語・ポスターを募集。標語188点、ポスター382点の応募があり、標語20点、ポスター30点を選出作品とし、表彰及び展示を行った。	特段なし	市内各校から広く応募できるように工夫しながら、応募数が増えるようにしたい。	○	○	○						各学校に応募依頼文書を送付		まちを美しくする市民運動推進協議会		153		市内の各団体で組織されている協議会の取り組みが理解され、市民に広がることを期待するためには有意義な事業であると認識している。	A		○	
65	3	環境保全課 環境保全事業	III-3							きしわだ環境フェア2021の開催 新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため開催を中止した。	環境保全に取り組んでいる団体を把握すること。開催地の選定。	環境に対する市民意識の高揚を促すため、今後も多岐にわたる分野での啓発を実施したい。	○	○	○	○															○
66	3	環境保全課 自然環境保全事業	III-3							里山保全のボランティアに関心のある人に対し、里山及び里山保全活動に関する知識及び技術の基礎を講習することで、里山保全活動の担い手を育成した。申込者数 21人	講座申込者数のバラツキがある。広報きしわだ等の募集について工夫が必要である。	里山保全活動の担い手が増え、活動の活性化を目指す。											NPO法人 神於山保全くらぶ		274		ほぼ計画どおり講座は開催された。引き続き事業を継続することで、里山保全活動の担い手が増え、活動の活性化が推進すると思われる。	A		○	
67	3	都市計画課 景観形成事業	III-3							住み良い文化的で潤いのある美しいまちを創出するため、岸和田らしい景観を保全形成を目指す啓発事業の取組の1つとして、ここに残る景観資源発掘プロジェクトを実施。令和3年度は、「眺望景観」について、応募件数50件の中から、まちかど審査(市内9か所延べ1132人)により9箇所を景観資源として指定し、PRを実施。	発掘した資源を広く周知し、市民の景観に対する意識や地域への愛着の向上を図る。	様々な情報ツールを活用して、広報を強化するとともに、観光・教育や環境部局との連携を図り、幅広い年齢層への啓発を図ってきたい。								テレビ岸和田番組表(Vision)	各市民センター、図書館、産業高校学務課	和歌山大学、観光ボランティア協会、商工会議所、テレビ岸和田		887	362	応募件数は開催年度によってばらつきがあるが、まちかど審査は周知されてきており、今後も啓発に努めたいと考えている。	A		○		
68	3	都市計画課 景観形成推進事業・公共サインガイドライン	III-3							市内で掲出されている公共サインの多くは、備えなければならない機能が不十分であり、景観にも大きな影響を及ぼすことから、公共サインのルールとなる岸和田市公共サインガイドラインを令和2年度に策定。本ガイドラインは各施設管理者が理解し運用を行うもので、庁内及びその他の公共機関に呼びかけを行った。	公共サインを設置する際には景観に配慮したデザイン・数量・大きさとし、安全に配慮した定期的なメンテナンスを行う必要がある。	本ガイドラインは各施設管理者が理解し運用を行うものであるため、今後も庁内及びその他の公共機関に呼びかけを行っていく。	○									公共サインを設置している課	岸和田市景観審議会、岸和田市環境デザイン委員会、大阪府		0	0	関係課から設置の計画段階で相談をいただき、ガイドラインに基づく設置と管理をしていただいている。	B		○	
69	3	都市計画課 街づくり支援事業	III-3				○	○	○	日常生活の中で誰もが利用する「駅」周辺を、地域住民を含めた関係者(鉄道・バス事業者、商店街、学校等)と行政が協働して「美しく個性がきらめき、魅力ある空間に再生」し、まちの活性化につなげていくプロジェクトを実施している。毎年4月に「ハンキングバスケット講座」、5月に「ガーデニングショー」で展示し、駅周辺の活性化を促進しているが、講座はコロナ禍で中止とし花苗資材の配布のみで実施、ショーは緊急事態宣言発令のため駅前展示を中止とし参加者自宅展示および市HPでの写真公開に変更した。	地域住民の参加者の高齢化が進んでおり、世代交代を進める必要がある。また、運営資金が減少してきている。	地域住民へのPRをより行い、参加者の世代交代を進める。市民団体等と運営資金等についても話し合いながら、地域住民の交流の促進や、駅周辺の活性化を進めていく。										東岸和田市民センター	旭・太田市民協議会、旭校区連合町会、太田校区連合町会、リハーブ全体管理組合、大阪府岸和田土木事務所		100		ハンキングバスケット講座では、地域住民同士の交流を促進し、また、小学生達の文化事業の充実にも寄与している。ガーデニングショーでは駅周辺の活性化に寄与し、毎年楽しみにしている住民も多にいる。	A		○	
70	3	都市計画課 歴史的景観保全支援事業(家屋修景助成)	III-3							住みよい文化的で潤いのあるまちを実現するため、歴史的まちなみ保全地区における家屋修景に対して支援を実施。	建築基準法の形態規制を遵守しつつ、本町の歴史的まちなみの特徴を備えた建築物に調和させることが困難な状況にある。	歴史的まちなみやこれと一体となり歴史的景観を形成している環境を保全し、住みよい文化的で潤いのあるまちを実現するため、歴史的まちなみ保全地区において家屋修景への支援を継続して行う。									なし	歴史的町並み保全基金運営委員会		11,254	0	歴史的まちなみ保全地区において家屋修景を行うことにより、歴史的景観を形成している環境を保全し、住みよい文化的で潤いのあるまちの実現に寄与している。	A		○		
71	3	都市計画課 歴史的景観保全支援事業(団体活動支援)	III-3	III-5						住みよい文化的で潤いのあるまちを実現するため、歴史的まちなみ保全地区において景観啓発に寄与する団体(本町のまちづくりを考える会)の活動に対して支援を実施。考える会は様々な活動を行っているが、令和3年度は、“おもてなしの心”を盛り込みながら、歴史的まちなみに合わせて案内板や掲示板を設置する案内板・掲示板プロジェクトや、まちづくりの館で季節に合わせた手作りの飾り付けを行う歳時記プロジェクトを実施した。	支援している団体における役員の高齢化が進んでおり、世代交代を模索している。	自主運営を基本としつつも、担い手育成や世代交代に関する情報を収集するなど、きめ細やかな情報提供を実施すべき。										なし	本町のまちづくりを考える会、歴史的町並み保全基金運営委員会		100		対象団体の支援を実施することにより、歴史的まちなみ保全地区における景観啓発が実施され、住みよい文化的で潤いのあるまちの実現に寄与している。	A		○	
72	3	郷土文化課 自然資料館普及・展示事業	III-3				○	○	○	身近な自然の多様性を学び、郷土の自然と自然保護への理解を深め、地球環境や自然史科学についての関心を高めるため、野外観察会や室内講座、展示等の事業を多数実施した。来館しづらい状況下での自然学習の機会を創出するため、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用したオンライン事業や配信動画の作成に取り組んだ。	学校園との連携強化 オンラインを活用した行事、出前授業等の継続 子育て支援等の社会的課題解決につながる取り組み	事業内容の質的向上および就学前児童向けプログラムの充実を継続し、自然環境や科学技術、博物館、SDGsに市民の関心を得るよう取り組む。									図書館、産業政策課、生涯学習課、春木市民センター	近隣博物館、NPO大阪自然史センター、きしわだ自然友の会等		7,627	64	前年に引き続き臨時休館や普及・展示事業の縮小を余儀なくされたが、オンラインを活用したイベントや出前授業など、新しい形態での事業展開に取り組んだ。	A		○		

Ⅲ-5. イベントを活用した魅力あるまちづくり

年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》	0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					広報活動の媒体				協働した団体		事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価	自己評価	新規	継続
												創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報しわだ・市HP	その他のHP・SNS	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)						
73	3 企画課	市制施行100周年記念事業	III-5						令和3年度は、プレ事業として、市民を対象にカウントダウン事業の参加者を募集し、実施した。	事業への市民の参加率が低い	市広報紙だけでなく、SNS等を活用し、するとともに、実行委員会とも連携を図り、周知・広報活動に力を注いでいく。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	岸和田市市制施行100周年記念事業実行委員会	3,235	1,211	プレ事業として、カウントダウン事業の参加者を募集した。当初は、参加者が少なく苦労したが、滞りなく実施できている。今後、庁内外において、引き続き記念事業が実施されていくが、より多くの市民の方に参加していただけるよう周知・広報活動にさらに力を入れていく。	A		○
74	3 企画課	中心市街地活性化事業	III-5						岸和田市中心市街地活性化基本計画に沿って、各種事業を推進している岸和田TMO(商業まちづくり機構)、商工会議所等との共同事業として開催するイベントへの参画。	岸和田TMOとの関わり方や、部会事務局としての役割について整理が必要。	関係各課と連携し、中心市街地の活性化が図れるよう支援していく。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	産業政策課・都市計画課	岸和田商工会議所	0 (TMO支援事業として産業政策課の支援)		各種事業について、庁内関係部局と連携しているところではあるが、より効果的な取組を実施するため、更なる連携強化が必要。	A		○
75	3 広報広聴課	シティセールス推進事業	III-5						SNSを活用した市の魅力発信を目的として、市内外問わずInstagramユーザーを対象にInstagram上で「第4回きしわだフォトコンテスト」を実施。応募件数350件。	フォトコンテストの応募件数が少なくなってきた。	フォトコンテストに応募してもらえるように、周知方法の検討や応募意欲をかきたてるような仕組みが必要。	○	○	○	○	○	○	○	○	○			43	0	計画どおりに事業を行うことはできたが、多くの方に応募していただけるような工夫が必要である。	A		○
76	3 自治振興課	市民活動団体支援事業	III-5					○	市民フェスティバル・中央公園にて開催。参加団体に模擬店、展示、フリーマーケット、地場産業振興等の場を提供し、岸和田市民相互のふれあいの場とし、市民参加の祭りの場として暮らした良い町づくりに寄与し、地場産業振興に貢献することを目的とする。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止	事業を運営している実行委員会メンバーの高齢化が進み、担い手の育成が必要。	事業の内容を工夫や充実させ、市民フェスティバルの活性化を図る。	○	○	○	○	○	○	○	○	○		岸和田市民フェスティバル実行委員会		1,700	事業の運営、及び活動に対して補助金交付を行っているが、令和3年度も令和2年度同様、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止			○
77	3 農林水産課	農業振興事業 農業まつり	III-5					○	市民の農業に対する理解や認識を深め、農業振興に資するため農業まつりを開催する。農業者の表彰、展示即売会、試食会、ステージ企画等を行い、農産物等の紹介、農林業の啓発と都市住民との交流等の機会の提供。入場者数は約8,000人。令和3年度は、緊急事態宣言をうけ中止を決定した。	ステージ参加者や入場者のための駐車スペースが確保できない。参加団体には相乗りするなどの協力を依頼しているが、徹底されていない。	企画内容の工夫などをしていき、農業まつりの活性化を図る。									○	農協の広報紙	JAIずみの・大阪府・農業委員会・農業研究クラブ協議会・果樹振興会・林業活性化協議会・岸和田市漁業協同組合 他17団体	16	2,000	岸和田市において農業は主要な産業のひとつであり、その振興は今後益々重要である。参加団体の意欲を高め、より協働できる仕組みづくりが必要。	A		○
78	3 農林水産課	農業振興事業 農業体験	III-5					○	市民参加によるじゃがいも(35組)、サツマイモ(30組)の収穫体験。新型コロナウイルス感染症拡大のため、サツマイモの収穫体験は中止。	申し込みが増え、抽選をしなくてはならない	事業の内容を工夫し、参加者の拡充を図る。										きしわだ生き生き農業応援団	500	500	参加者の満足度が高い。	A		○	
79	3 産業政策課	港振興協会助成事業(港まつり)	III-5						港まつりは新型コロナウイルス感染症拡大防止等のため中止。体験航海は巡視船の派遣ができずに中止。	花火に代わる新しい港まつりの検討	花火に代わる新しい港まつりの実施(R4年度はアクアパークにおける「スロー&リラックスイベント」を実施予定)										なし	なし	0	16,395				○
80	3 観光課	観光振興事業	III-5					○	城下町泊の機運醸成のためのキャンピングカーでの宿泊体験の実証実験や、犬走公開、大阪城・尼崎城との連携など、岸和田城を中心に賑わいを創出する取り組みを実施した。	魅力ある地域資源の利活用が不十分である。プロモーションをはじめとする効果的・効率的な情報発信が出来ていない。	平成28年度に策定した「第2次岸和田市観光振興計画」に基づき事業を推進していく。	○	○	○	○	○	○	○	○	○		岸和田市観光振興協会 岸和田商工会議所	15,189	1,720	新型コロナウイルス感染症の影響を受け急激に観光客数は落ち込んでいるが、今ある魅力を活かすため情報発信の強化に取り組む必要がある。	B		○

Ⅲ-6. 伝統工芸品の価値発信、新産業の創出

年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					広報活動の媒体					協働した団体		事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価	自己評価	新規	継続
														創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報しわだ・市HP	その他のHP・SNS	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)						
81	3 産業政策課	岸和田ブランド事業	III-6							岸和田らしさを備えた優れた産品を岸和田ブランドとして認定し、情報発信や販売促進を推進することで岸和田市の知名度向上を図っている。令和3年度は、2品目の新規認定及び4品目の再認定を行った。イベントは、「ワールドマスターズゲームズ2021関西」岸和田市実行委員会PRコンテンツの一環として、岸和田ブランドのブースを出展し、PRを図った。	製品の研究開発及び販売促進	岸和田ブランドのさらなる認知度向上のために施策を展開していく。		○	○			○	○	○	○		なし	岸和田商工会議所、泉州広告株式会社、和歌山大学岸和田サテライト	2,000	0	岸和田ブランドの認知度のさらなる向上のため、新しい生活様式を意識しながら、多くの人の目に触れるように各種イベントへの出展を行っている。	A		○	
82	3 産業政策課	商工業振興事業(旧伝統工芸品振興事業も含む)	III-6							大阪泉州桐草笥製造協同組合が令和3年11月27～29日に参加した「KOUGEI EXPO IN AICHI」に対する補助対象経費の1/2を補助した。	ライフスタイルの変化に伴い、いかに販売促進につなげていくか。	現代のニーズに合わせた商品の開発に取り組むとともに、その価値の周知に努め、伝統工芸品を守り発展させていく。 なお、R3から事業者全般の補助事業と統合した。		○	○	○			○		なし	大阪伝統工芸品展推進委員会他	127		伝統工芸に触れてもらえる機会を創出できたことは成果があった。	B		○			
83	3 産業政策課	企業経営支援事業	III-6							コロナ禍の中、事業が実施できなかった。	製品の研究開発及び販売促進	R4以降の補助金の支給を実施しない			○	○					なし	岸和田商工会議所、夢つむぎ会	0	500	事業目的と効果の関係が明確に現れていないことから事業支援を廃止とする。	C					

基本目標Ⅳ 未来へつなぐ

IV-3. 情報の収集、発信

年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》	0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					広報活動の媒体				協働した団体		事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価	自己評価	新規	継続		
												創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報しわだ・市HP	その他のHP・SNS	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)							他団体(団体名等)	
84	3 全課	情報の収集、発信	IV-3					○	文化に関する公演・講座・各種イベント等を周知するため、広報活動として市内公共施設でのポスター・チラシの配架、HPでの告知に努めた。また、特に文化施設3館では、市内外の関連公演等の情報発信に協力している。	多種多様な情報の収集、発信の手法についての検討や、コロナの影響により急に中止になる事業もあるため、即時に対応できるようにする必要がある。	今後も継続するとともに、情報発信と収集の手法については検討が必要。						○	○	○	○					0		現在、各課が中心となって広報に努めている。また、文化に関する情報を発信する立場からはいかに収集と発信をしていくかを検討課題としていく必要がある。	A		○

IV-4. 文化振興基金の活用

年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》	0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					広報活動の媒体				協働した団体		事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価	自己評価	新規	継続		
												創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報しわだ・市HP	その他のHP・SNS	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)							他団体(団体名等)	
85	3 文化国際課	文化振興基金の活用	IV-4					○	文化振興基金は、文化施設の修繕やソフト事業の実施に活用されている。現在、岸和田市ふるさと寄附金事業のなかの一つの選択肢として文化振興基金が位置付けられている。ふるさと寄附金事業を案内するチラシがあり、担当課が中心となって広報活動を行っている。(アートマルシェ事業費・アウトリーチ事業費・本市育成団体の指導者謝礼)	原資の確保と、基金の周知活動。	寄附者の満足度を高めていく活用方法を検討していく。						○	○		○			企画課		1,953		現在、ふるさと寄附金事業の周知方法はチラシ・専用ポータルサイトがある。また、基金の活用結果も同様に行っている。	A		○